

安城市歴史博物館刊行物のご案内

R8.2.7現在

図録

書名	年度	内容	頁数	重量	厚み	定価	版形	備考
安城文化財図録追録版	平成2年		18頁	70g		250円	B5縦	完売
安城市歴史博物館常設展示案内	平成2年	博物館の常設展示を写真(オールカラー)、イラスト等で分かりやすく解説。	111頁	520g	0.7cm	500円	A4縦	
安城市歴史博物館(見学の手引き)	平成2年	見学学習のために作成した常設展示の手引き。個々の展示資料を細かく解説している。	136頁	400g	1.0cm	1,500円	B5縦	完売
開館記念特別展「再発見安城の文化財」～かたちに託すこころの世界～	平成2年	安城市内に所在する国・県・市の指定する文化財等を写真・図版で紹介する。	62頁	220g	0.5cm	800円	B5縦	
特別展「明治の三大用水～安積疏水・那須疏水・明治用水～」	平成3年	明治期に建設された安積疏水、那須疏水、明治用水の歴史過程を紹介する。	72頁	250g	0.5cm	500円	B5縦	完売
郷土を学ぶ絵本「石川丈山」	平成3年	文人・石川丈山の生涯を紹介した絵本。文は元館長神谷素光、絵は峯村敏が担当した。	32頁	150g	0.1cm	600円	B5縦	完売
常設展示室解説書「顔のメッセージ」	平成3年	常設展示「顔のメッセージ」のコーナーの解説書。	44頁	120g	0.3cm	100円	B5縦	完売
企画展「三河と足利氏～尊氏を支えたもうひとつの三河武士～」	平成3年	足利氏が三河武士として歴史の表舞台に登場する過程と関連する事柄を資料として紹介する。	40頁	170g	0.3cm	1,000円	B5縦	完売
企画展「土のキャンパス～縄文土器のデザイン～」	平成4年	縄文土器の模様を縄文人の「表現」と見ることで、彼らの心の表現の世界にせまる。	56頁	200g	0.5cm	500円	B5縦	完売
企画展「筌(うけ)～川漁と生活～」	平成4年	漁撈具「筌」を通して、漁撈文化のもつ意味を考える。市内油ヶ淵の漁も紹介する。	36頁	210g	0.4cm	800円	A4横	完売
企画展「おもちゃの文化史～北原照久コレクション～」	平成4年	今ではすっかり影をひそめたブリキのおもちゃのミニ写真集。	14頁	60g	0.1cm	100円	B5縦	
開館1周年記念特別展「文人、石川丈山の世界」	平成4年	安城出身の文人、石川丈山の生涯を彼が生前残した漢詩・書・工芸を通して紹介する。	62頁	320g	0.7cm	1,000円	B5縦	完売

図録

書名	年度	内容	頁数	重量	厚み	定価	版形	備考
特別展「聖徳太子像の造形～真宗の聖徳太子像～」	平成5年	西三河地方に伝わる主要な太子像を中心に関連する各地に伝わる聖徳太子の木造・画像を紹介する。	64頁	300g		1,000円	A4横(変形)	完売
企画展「星まつり・日本の七夕～天の川にかける夢～」	平成5年	安城の古い七夕習俗と日本の特徴的な七夕行事などの資料を紹介する。	56頁	230g	0.5cm	800円	A4縦(変形)	完売
企画展「近世三河の俳諧」～卓池・秋挙・楳老・塞馬～」	平成5年	芭蕉に連なる三河の四俳人及び安城の都築和楽について紹介する。	55頁	220g	0.5cm	800円	B5縦	完売
企画展「真宗の美術」第2回安城の文化財展	平成5年	方便法身尊像や名号等の絵像本尊、名号本尊を中心とした市内の真宗美術を紹介する。	12頁	60g		300円	B5横	完売
企画展「日本独創の技術 ガラ紡」	平成5年	ガラ紡の歴史と技術的特色を三河地方との関わりを交えて紹介する。	48頁	200g	0.5cm	800円	B5縦	完売
第1回収蔵品展「安城 食の風景」	平成6年	今の世に食の話題は果てしないが、昔を訪ねるものはまれ。安城地方伝統の食を知る書。	178頁	520g	1.6cm	800円	B5縦	第2刷(平成7年)完売
企画展「弥生の華パレスティナル土器」	平成6年	パレスティナル土器の華麗な造形美をテーマとして、その歴史的な背景にも触れながら紹介する。	45頁	250g	0.5cm	800円	A4縦(変形)	完売
特別展「家康と尾張徳川家 徳川美術館コレクション」	平成6年	家康の「駿府御分物」をはじめ徳川美術館の由緒ある大名道具の数々を紹介する。	61頁	380g	0.6cm	800円	A4縦(変形)	
特別展「蓮如上人～復興の生涯～」	平成7年	真宗中興の祖、「蓮如上人」の業績を自筆の名号や御文、関連の絵画・典籍で紹介する。	78頁	380g		1,000円	A4縦	完売
企画展「古代集落遺跡を掘る～西三河のムラと都～」	平成7年	西三河集落遺跡の概要並びに地方の暮らしの様子を都の暮らしと対比して紹介する。	72頁	410g	0.5cm	1,000円	A4縦	完売
企画展「西洋医学事始～治療と養生の世界～」	平成7年	江戸時代の中ころ、漢方から蘭方への移行期の医学事情を人物・解剖図を交えて紹介。	55頁	250g	0.4cm	500円	A4縦	
開館5周年記念企画展「農鍛冶の世界～村のくらしと鉄器～」	平成7年	トントンという音の背後には、農民と鍛冶のくらしと歴史が見える。	63頁	210g	0.5cm	900円	B5縦	完売
開館5周年記念特別展「愛知の中世陶器～渥美・常滑・瀬戸～」	平成8年	愛知の中世陶器110点を通じてその枯淡な美と歴史を紹介。作品解説付き。	79頁	350g	0.6cm	500円	A4縦	完売

図録

書名	年度	内容	頁数	重量	厚み	定価	版形	備考
企画展「妖怪図鑑～たそがれと闇にひそむもの～」	平成8年	闇に対する潜在的な恐怖から生み出された妖怪の姿の変遷を錦絵・版本・絵巻物で紹介する。	56頁	340g	0.6cm	1,500円	A4縦	完売
第2回収蔵品展「掘り出された安城の歴史」	平成8年	市内出土の考古資料から明らかになった安城の歴史を9つの視点から解説する。	55頁	330g	0.6cm	400円	A4縦	完売
歌川広重生誕二百年記念企画展「広重の江戸名所」日本浮世絵博物館所蔵	平成8年	雨、月、雪、そして夕夜景。日本人の自然観を版画で表現した広重の名品32点を収録。	35頁	190g	0.4cm	500円	A4縦 (変形)	完売
市制45周年記念特別展「日本デンマークの姿～大正・昭和の農村振興～」	平成9年	日本デンマークと呼ばれたところの農業先進地としての碧海郡の様子を紹介する。	86頁	500g	0.9cm	600円	A4縦	第2刷 (平成17年)
企画展「本證寺～その歴史と美術～」	平成9年	本證寺の重文の絵伝を含む59点の寺宝を写真と解説で紹介する。	57頁	350g	0.5cm	1,000円	A4縦	完売
企画展「東海の貝塚～食べる・祈る・葬る～」	平成9年	貝塚という「墓」から明らかになった縄文人の姿、堀内貝塚出土の再葬墓も掲載する。	63頁	380g	0.6cm	1,000円	A4縦	完売
特別展「三河万歳～伝承された舞の形～」	平成10年	万歳の画や古写真の他「江戸川柳」から万歳を読む。「三河万歳の足跡」と解説を納める。	75頁	440g	0.5cm	1,000円	A4縦	第2刷 (平成15年) 完売
企画展「ラジオとテレビジョン～昭和27年、安城市、ラジオ普及率日本一に輝く～」	平成10年	昭和27年安城市のラジオ普及率が日本一位。市の農村文化の先進性を示すこととして紹介する。	47頁	300g	0.4cm	300円	A4縦	
企画展「弥生の技術革新 野焼きから覆い焼きへ～東日本を駆け抜けた土器焼成技術～」	平成10年	弥生時代には大陸から土器の焼成技術等も伝わってきた。野焼きと覆い焼きの違いを紹介する。	55頁	340g	0.5cm	1,100円	A4縦	完売
特別展「東海の木喰仏～二百年の微笑の魅力～」	平成11年	木喰は61歳から93歳まで千体をこえる仏像を残した。寛政11年～12年の三河・遠江・駿河の完成期木喰仏を紹介する。	80頁	480g	0.7cm	800円	A4縦 (変形)	
企画展「幽霊学入門」	平成11年	江戸時代から明治時代の幽霊像とその変遷を版本・錦絵・肉筆の3種類の幽霊画から紹介する。	60頁	380g	0.5cm	1,200円	A4縦 (変形)	完売
企画展「三河土人形」	平成11年	その躍動する姿を紹介。聞き取り調査やその盛衰過程をまとめた「覚え書き」も収録。	47頁	300g	0.5cm	1,000円	A4縦	完売
企画展「写された幕末・明治」	平成11年	古写真収集家として著名な石黒敬章氏の古写真から優秀作品を選んで紹介する。	15頁	62g	0.1cm	100円	A4縦	完売

図録

書名	年度	内容	頁数	重量	厚み	定価	版形	備考
企画展「安城の絵馬」	平成12年	絵馬の歴史をたどるとともに安城市内の神社に奉納された絵馬の中で特に江戸・明治時代のものを中心に紹介する。	56頁	340g	0.5cm	1,000円	A4縦	完売
企画展「江戸時代の測量術」	平成12年	江戸時代の測量技術について、在来のものから伊能忠敬までの方法を紹介する。	71頁	420g	0.7cm	1,100円	A4縦	完売
開館10周年記念特別展「弥生の絵画 倭人の顔～描かれた2000年前の世界～」	平成12年	本館所蔵の人面土器を中心に絵画・記号土器・絵画銅鐸計、170点を収録。	125頁	670g	0.9cm	800円	A4縦 (変形)	
企画展「旅のあこがれ 浮世絵 東海道」	平成13年	東海道宿駅設置400年を記念して東海道について描かれた浮世絵をテーマ別に紹介する。	71頁	380g	0.7cm	600円	A4縦	完売
企画展「京都誓願寺と三河の念仏宗」	平成13年	三河を拠点とし、京都誓願寺を本山とする浄土宗西山深草派の寺院に伝わる文化財を紹介する。	79頁	390g	0.7cm	1,000円	A4縦	完売
企画展「東海の凧 桜井の凧」	平成13年	『凧銀座』と呼ばれる東海地方の凧と凧文化を紹介する。インタビューと東海地方の「凧文化を考える」を収録。	63頁	320g	0.5cm	500円	A4縦	第3刷 (平成17年)
市制50周年記念特別展「アソビ・ヨハンジョ安城展～安城市のあゆみ～」	平成14年	昭和27年5月の市制施行から現在まで、安城市50年の歩みを写真などで紹介する。	22頁	100g	0.1cm	100円	A4縦	完売
企画展「再現!からくり人形」	平成14年	東海地方に多く見られる「山車からくり」10組と「機巧図彙」にみられる「座敷からくり」を紹介。平成14年に安城市尾崎町で発見された「額祭り」のからくり人形も掲載。	22頁	130g	0.2cm	200円	A4縦	
特別展「ものがたり 善光寺如来絵伝」	平成14年	信州善光寺の縁起を描く善光寺如来絵伝と関連資料を掲載。出品作品のほか2例も加え、中世善光寺如来絵伝を網羅。	128頁	580g	1.0cm	700円	A4縦	完売
安城七夕まつり第50回記念特別展「日本の三大七夕」七夕額飾りの世界	平成15年	日本三大七夕といわれる仙台・平塚・安城の七夕を紹介するとともに、安城地方の伝統的な七夕飾り「額」を明らかにする。	75頁	360g	0.5cm	400円	A4縦	
企画展「よみがえる上宮寺の宝物」	平成15年	昭和63年の火災で大きな被害を受けた後、順次修復が進められる上宮寺の文化財を紹介。	72頁	360g	0.5cm	700円	A4縦	完売
埋蔵文化財センターオープン記念企画展「縄文・弥生の遺産」	平成15年	吉野ヶ里遺跡や三内丸山遺跡など著名な縄文・弥生時代の7遺跡に加え、西三河を代表する複合遺跡・鹿乗川流域遺跡群を総合的に紹介。	88頁	410g	0.7cm	1,000円	A4縦	完売

図録

書名	年度	内容	頁数	重量	厚み	定価	版形	備考
七夕之本地絵巻「たなばたのほんじ」	平成16年	御伽草子『七夕之本地』絵巻(本館蔵)の全編をカラー図版で紹介、物語のあらすじも収録。	95頁	460g	0.6cm	1,000円	A4横	完売
特別展「北欧デンマークの輝き」～王室銀製品と友好都市コリングのコレクション～	平成16年	コリング市からの、伝統の銀製品や絵画、工芸品を展示。コリングの歴史や「日本デンマーク」の由来についての論考も収録。	137頁	610g	0.8cm	500円	A4縦	
企画展「安城と新美南吉」	平成17年	亡くなる直前までの5年間、教員として安城高等女学校へ通った童話作家新美南吉と安城の関わりを紹介します。	79頁	390g	0.5cm	500円	A4縦	完売
愛知県埋蔵文化財センター共同企画展「畏きものたち」～東海地方のまじないと文化～	平成17年	愛知県埋蔵文化財センター共同企画展。県内各地で出土した占いや呪術につかわれた道具を紹介。	102頁	460g	0.6cm	500円	A4縦	
企画展「山崎文庫」～日本デンマークをきずいた山崎延吉の遺品～	平成18年	愛知県農林学校(現愛知県立安城農林高等学校)の初代校長として安城へ赴任した山崎延吉を記念する山崎文庫を紹介。後には、都市の発展に負けない農村建設やそれを支える農民養成を主張して全国をまわった山崎延吉の人柄をうかがう。	64頁	321g	0.5cm	1,000円	A4縦	
企画展「三河地震」～直下型地震の恐怖～	平成18年	終戦の年の1月13日、西三河南部地方を襲い大きな被害を出したにもかかわらず、戦時下の情報統制のためあまり報道されなかった三河地震。貴重な写真や記録、被害者の証言などを収録。	112頁	511g	0.7cm	1,000円	A4縦	完売
特別展石川丈山のこころ「煎茶の世界」	平成18年	かつて煎茶の「元祖」といわれた安城出身の石川丈山。煎茶の歴史や名品をたどりながら、丈山と煎茶の接点を探ります。	88頁	416g	0.5cm	1,000円	A4縦	完売
企画展「くらしを変えた電化製品」	平成18年	昭和30年代までの古い電化製品を、それ以前の道具とを比較しながら紹介。かつて安城市がラジオ普及率日本一になったことと合わせて、電化製品の普及を考えます。	46頁	240g	0.4cm	500円	A4縦	
企画展「模写」	平成19年	高松塚古墳壁画や源頼朝像など、国宝級絵画の模写作品を紹介。館蔵の阿弥陀三尊来迎図を例に、模写作品の過程も収録。	47頁	258g	0.4cm	500円	A4縦	
ミュージアム・スポット「つくられた猫・描かれた猫」	平成19年	江戸時代に流行した化け猫の浮世絵や福を呼ぶ招き猫など、愛知県ゆかりのネコを中心に紹介します。	14頁	66g	0.1cm	無料	A4縦	完売
市制55周年記念特別展「『安城方式』と呼ばれたほ場整備」～安城の農業発展を支えた人びと～	平成19年	農業の近代化にかかせないほ場整備。安城で行われたほ場整備は、道路や工場用地の計画もまきこんだ先進的なものとして全国的に注目されました。その工夫と実践を紹介します。	175頁	660g	1.2cm	1,000円	A4縦	第2刷(平成19年)

図録

書名	年度	内容	頁数	重量	厚み	定価	版形	備考
企画展「漂着モノがたり」	平成20年	海岸や河原に流れ着くさまざまなモノを、伊良湖の椰子の実、矢作川、日本海に分けて紹介。それぞれの漂着物から人々のくらしや歴史を読み解きます。	72頁	240g	0.5cm	700円	A4横 (変形)	
企画展「三河の古墳」～安城の古墳時代を探る～	平成20年	古墳時代は大きな墳丘に多量の副葬品を納めた古墳がつくられた時代です。東西三河の古墳の流れを読み取り、近年の調査蓄積がある安城の古墳、そして古墳時代を紹介します。土生田純之氏ほか4名の論稿も収録しています。	88頁	420g	0.6cm	800円	A4縦	第2刷 (平成20年) 完売
特別展「江戸っ子が見た三河万歳」	平成20年	絵画や古文書をとおして江戸で活躍した三河万歳の姿を紹介します。	87頁	415g	0.5cm	800円	A4縦	
企画展「徳川家康の源流 安城松平一族」	平成21年	徳川家康を輩出することとなる安城松平一族ゆかりの資料を通して、安城城(安祥城)を中心とした安城市域、さらに三河戦国期を探る一冊。村岡幹生氏(中京大学)・久保田昌希氏(駒澤大学)をはじめとする戦国期研究の第一線の方々の論考も必見です。	152頁	680g	0.9cm	1,000円	A4縦	完売
ミュージアム・スポット「私の好きな逸品収蔵名品展」	平成21年	開館20周年記念プレ展覧会として、安城市民をはじめとする皆様による人気投票で選ばれた本館収蔵(寄託資料を含む)の名品を紹介。皆様のおすすめコメントや研究者・本館職員の解説から安城市の指定文化財や隠れた逸品を知る機会となる、お手ごろな一冊です。	15頁	65g	0.1cm	100円	A4縦	
ミュージアム・スポット「村絵図1～安城北部の村々～」	平成22年	江戸時代、東海道が走り、碧海台地上の水の乏しい地域であった市内北部の村々の絵図類を収録しています。その他に東海道図や古文書なども含め、約30点を掲載しています。	16頁	65g	0.1cm	100円	A4縦	
企画展「風まかせ東海道中」-江戸時代の旅人と街道-	平成22年	江戸時代に描かれた絵画や道中日記から、当時の旅や東海道の名物を紹介。また、安城市域を中心に、道沿いの人々の暮らしや役割を伝える資料を多数掲載しています。	87頁	412g	0.6cm	800円	A4縦	
企画展「戦争のなかに生きる」	平成16年	戦争に関する資料を一般市民の視点で展示、解説。安城市東端町一帯にあった、明治航空基地と第210海軍航空隊も取りあげる。市民13人の戦争についてのインタビューも収録。	123頁	560g	0.9cm	1,200円	A4縦	第2刷 (平成22年) 完売
特別展「安城御影」	平成22年	かつて安城に伝来した親鸞の寿像「安城御影」について、その原本と模写本などを紹介、描かれた背景や後世に与えた影響をたどります。	80頁	392g	0.6cm	800円	A4縦	完売

図録

書名	年度	内容	頁数	重量	厚み	定価	版形	備考
開館20周年記念特別展 「描かれた農四季耕作 図」	平成23年	中国から伝えられた四季耕作図の日本における変遷が辿れる数々の作品を掲載するとともに、浮世絵や工芸品への拡がりをあわせて紹介しています。	141頁	647g	0.9cm	1000円	A4縦	
ミュージアム・スポット 「収蔵品展百年前の絵は がき」	平成23年	平成21年度に榎前町の齋藤家から膨大な歴史資料が寄贈されました。今までに収蔵された資料の中にあるものを含め、絵はがきは約1万点の収蔵となりました。今に通じるモダンなデザインや当時の世相や雰囲気を楽しんでいただけるお手ごろな一冊です。	16頁	65g	0.2cm	100円	A4縦	
企画展「汽笛一聲・安城 駅120年」	平成23年	明治24年(1891)全線開通したばかりの東海道線に、始めはなかった停車駅が新設されました。現在の安城駅です。この地域の発展は、この駅なくしてはありえませんでした。開業から120年、安城駅など市域と鉄道の関係を紹介します。	87頁	436g	0.9cm	1000円	A4縦	完売
企画展「戦時下にできた 明治航空基地」	平成23年	明治航空基地は、太平洋戦争中に現在の東端・根崎・和泉町にできた海軍の飛行場です。平成21年度に残存施設の1つである非常用発電所の調査を行なったところ、内部は良好に残っていることが明らかになりました。この調査成果も含めて紹介します。	85頁	432g	0.8cm	800円	A4縦	完売
ミュージアム・スポット 「村絵図Ⅱ」～江戸時 代の油ヶ淵と周辺の村々 ～	平成23年	油ヶ淵の変遷がわかる絵図、また市内南部の村だけでなく、碧南、高浜、西尾の油ヶ淵周辺にあった村の絵図など紹介します。村絵図Ⅰに続きお手ごろな一冊です。	15頁	68g	0.1cm	100円	A4縦	
特別展「安城ゆかりの 大名 藤井松平家」	平成23年	徳川家康の先祖である松平家は三河の各地に分家を出して勢力を拡大しました。その一つが安城松平家から分かれて藤井を本拠とした藤井松平家です。上山や上田の藤井松平家ゆかりの甲冑や古文書などをとりあげ、その歴史を紹介します。	90頁	425g	0.7cm	1000円	A4縦	平成24 年第2 刷
ミュージアム・スポット 「村絵図Ⅲ」～安城が 原と碧海台地に展開した 村々～	平成24年	安城市中央に位置する安城が原を中心に、江戸時代の原地開発と村々の争い、碧海台地に開発の場を求めた村々の絵図を集め、紹介します。	16頁	66g	0.1cm	100円	A4縦	
市制60周年記念特別展 「からくり人形の世界 - その歴史とメカニズム -」	平成24年	市内の旧家から発見された江戸時代末頃製作された文字書きからくり人形を中心に、現存する2体の文字書きからくり人形や関連資料を展示。からくり人形の歴史、メカニズム、からくりの文化史等について解説。	87頁	422g	0.6cm	800円	A4縦	

図録

書名	年度	内容	頁数	重量	厚み	定価	版形	備考
ミュージアムスポット 市制60周年写真展 「かわる安城・60年の軌跡」	平成24年	安城市の市制移行の際の論議をはじめ、「田園都市」誕生の背景について紹介。	20頁	66g	0.1cm	200円	A4縦	
「安城の新美南吉」	平成24年	平成25年は、「おちいさんのランプ」や「花のき村と盗人たち」などで知られる、日本を代表する児童文学作家のひとり新美南吉の生誕100年の年です。安城高等女学校の教え子をはじめとする関係者のみなさんが所蔵している写真や葉書、安城高等学校で保存され安城市歴史博物館へ寄贈された高等女学校の書類や画帖など、作品からの印象とは違った南吉の一面を知ることができる貴重な資料が集められています。	167頁	614g	0.9cm	800円	A4縦	
市制60周年記念企画展 「桜井町の棒の手・馬の塔」	平成24年	安城市桜井町に伝わる「棒の手」は、愛知県の無形民俗文化財にも指定された貴重な民俗芸能のひとつです。かつて、愛知県下の祭礼で広く行われていた「棒の手」と「馬の塔(飾馬)」を桜井神社に伝えられたものを中心に紹介します。	83頁	402g	0.5cm	700円	A4縦	
新美南吉生誕百年記念事業特別展 「南吉が安城にいた頃」	平成25年	代表作「ごんぎつね」で有名な童話作家新美南吉(本名=正八)は、大正二年愛知県知多郡半田町に生まれました。今年は生誕百年にあたります。時代背景をとりあげる「南吉がいた頃の安城」、教え子たちとの交流をひもとく「教師としての南吉」、安城で書かれた作品と南吉をたどる「南吉作品と安城」の三つの視点から教師であり作家であった南吉の姿に迫ります。	76頁	364g	0.5cm	800円	A4縦	完売
朗読詩集 「安城で紡がれた南吉の詩」	平成25年	中学二年から創作を始めた南吉の詩は、「校定新美南吉全集第八巻」に二七五篇収められています。その中から安城時代の二三篇を選んで、この詩集を編みました。	28頁	115g	0.3cm	500円	A4横(変形)	令和5年再販
企画展 「千客万来 安城を彩った広告」	平成25年	今も昔もコマース(宣伝)は私たちの身の回りにあふれ、時代を反映しています。看板、ポスター、チラシ、絵はがき、扇子や手ぬぐい、今ではほとんど見られなくなってしまったマッチ等々、できるものなら何にでも店名や商標を入れ宣伝していました。今回の企画展では多くの市民の方々から当館に寄贈された広告や、それに関連する資料を展示し、往時の安城の町のイメージを再現しました。	15頁	54g	0.2cm	100円	A4縦	

図録

書名	年度	内容	頁数	重量	厚み	定価	版形	備考
特別展 「三州に一揆おこりもうす-三河一向一揆450年-」	平成25年	今年は一河一向一揆から450年になります。三河一向一揆は、桶狭間の合戦後家康が三河国統一を進めていくうえで最初にぶつかった難問です。江戸時代には神君家康公に対する反逆として語られたこの一揆も、近年の研究では複雑な性格を持つことが次第に明らかにされています。今回は関連の資料を紹介し、謎に包まれた三河一向一揆の実像に迫ります。	74頁	360g	0.5cm	700円	A4縦	完売

図録

書名	年度	内容	頁数	重量	厚み	定価	版形	備考
特別展「大交流時代-鹿乗川流域遺跡群と古墳出現前夜の土器交流-」	平成25年	弥生時代終末期から古墳時代前期は大和を中心とした国家成立前夜にあたり、列島規模で人、物、情報が行き交いました。今回の特別展では全国的な土器交流の実態とともに拠点集落と関連がある墳丘墓・古墳を紹介し、鹿乗川流域遺跡群の新たな姿を提示します。	120頁	545g	0.8cm	1000円	A4縦	完売
特別展「安城ゆかりの大名時代を駆け抜けた武将 加藤嘉明」	平成26年	名城として知られる松山城を築城し、後に会津四〇万石の大名となった加藤嘉明。本展では嘉明の生涯と嘉明の子明成以降の加藤家について、特に賤ヶ岳の戦い以後の水軍の将としての嘉明の活躍を、秀吉の朝鮮出兵などに焦点をあてて紹介します。	83頁	405g	0.7cm	800円	A4縦	完売
特別展「龍燈の湖 油ヶ淵の過去・現在・そして未来へ」	平成26年	愛知県唯一天然湖沼といわれている油ヶ淵。かつては内海でしたが、江戸時代初期、矢作新川の開削でもたらされた土砂により洲が形成され海と隔てられました。今回の展示では、油ヶ淵の成り立ちから現在の水質汚染等に関する取り組みについて紹介しています。	73頁	406g	0.5cm	700円	A4縦	
企画展「アッパレ！宮大工 安城の社寺建築を知る」	平成26年	安城市教育委員会で進めてきた市内の社寺建築の調査で、上棟式の年月日や関わった大工棟梁などの名前を記した棟札や、瓦にへら書きされた年号や瓦職人の名前など、多くの発見がありました。今回はこれらの建築部材・絵図・古写真のほか大工道具や継手の模型などを紹介します。身近に残る古い建物の素晴らしさ、それを作った大工の技の素晴らしさを感じてみてください。	48頁	270g	0.3cm	500円	A4縦	完売
国史跡指定記念特別展「三河真宗の名刹 本證寺」	平成27年	三河一向一揆の舞台として知られる本證寺。安城市教育委員会による文化財調査の結果、その歴史的価値が非常に高いことが明らかになり、平成26年度に「本證寺境内」として国史跡に指定されました。戦国～江戸時代の境内の様子を示す堀・土塁や建物群などの調査成果とともに、創建期から伝わる聖徳太子絵伝などの法宝物を紹介します。	86頁	420g	0.6cm	600円	A4縦	完売
企画展「わたしの見た戦争-戦時下の子どもたち-」	平成27年	昭和5年の安城の人々の戦時中の暮らしと戦争への関わりを紹介する。	8頁	26g	0.1cm	無料	A4縦	完売

図録

書名	年度	内容	頁数	重量	厚み	定価	版形	備考
特別展「台地を拓く都築 弥厚の夢」	平成27年	明治用水のさきがけとなる用水計画を立てた人物として知られる都築弥厚は、酒造業や米の売買、新田経営などに才能を發揮した商人であり、また俳諧などにも名を残す文化人でもありました。 平成27年は都築弥厚の生誕250年にあたります。本書では、残された歴史資料などから弥厚の事跡をあらためて検証し、これまで形作けられた弥厚像に加え、商人としての弥厚、文化人としての弥厚など多面的に弥厚の姿に迫ります。	109頁	502g	0.7cm	600円	A4縦	完売
企画展「時代を彩った 美女たち」	平成27年	收藏品の中から錦絵ほか、絵葉書やポスター・雑誌の表紙など、各時代を彩った女性たちの姿を紹介しします。	8頁	32g	0.1cm	無料	A4縦	完売
企画展「安城の文化財 -モノ語り名品展III-」	平成28年	安城市では、安城の歴史・文化などを考える上で貴重な資料を文化財として指定しており、国・県指定を含めて222件の指定文化財があり、今回で市内の指定文化財をすべて紹介するシリーズの3回目です。	8頁	32g	0.1cm	無料	A4縦	完売
企画展「そうだ！旅に 出よう -収蔵資料から 見る昔の旅行-」	平成28年	市民から寄贈された資料の中から、井戸時代の旅や近代の旅、そして鉄道道路網が整った昭和の旅に関する資料をそのテーマにあわせて紹介します。	8頁	28g	0.1cm	無料	A4縦	完売
聖徳太子絵伝模写完成記念特別展「まねる う つつ ったえる -信じ る心をつたえる美-」	平成28年	安城市野寺町の本證寺につたわる聖徳太子絵伝は全10幅にわたり聖徳太子の生涯を描いた大型の掛軸で、質・量ともに中世に制作された太子絵伝の中でも優れたもののひとつです。安城市教育委員会はこの太子絵伝の模写を愛知県立芸術大学に依頼し5年かけて制作しました。今回、模写完成記念として「まねる」「うつつ」で受け継がれてきたさまざまな仏教美術や人々の信仰について紹介します。	84頁	481g	0.7cm	800円	A4縦	
特別展「安城ゆかりの 大名 家康の名参謀本多 正信」	平成28年	本多正信には、その出生地を小川(安城市小川町)とする説があり、三河一向一揆の際には弟政重と共に一揆側について戦ったほか、その後の三河真宗寺院の復帰に際しては本證寺と交わした文書も伝えられています。本書では、没後400年を迎え、優れた行政手腕で初期の江戸幕府を支えた本多正信と併せて、弟正重や息子の正純・政重の動向も紹介します。	84頁	411g	0.6cm	1000円	A4縦	初版第2刷

図録

書名	年度	内容	頁数	重量	厚み	定価	版形	備考
企画展「安城の文化財-モノ語り名品展Ⅳ-」	平成29年	安城市内には、国・県・市の指定文化財が222件もあります。歴史や文化を知る上での資料の紹介の目的で、「安城の文化財-モノ語り名品展-」と題する展覧会を5回シリーズで企画し、今回は4回目にあたります。	8頁	27g	0.1cm	無料	A4縦	完売
特別展「陰陽師 安倍晴明」	平成29年	安城ゆかりの三河万歳は、江戸時代、陰陽道を統括する土御門家の支配下に入ります。土御門家は平安時代に活躍した陰陽師安倍晴明の嫡流です。晴明は、映画やマンガなどでは強力な術師として登場しますが、実際には陰陽寮の役人として朝廷や天皇のために、怪異現象の卜占、行事の日時・方角の選定などを行っていました。本書では、晴明の実像と稀代の術師としてのイメージ像に迫ります。	78頁	379g	0.5cm	1200円	A4縦	完売
文字書きからくり人形調査報告書	平成29年	平成21年、安城市古井町内の旧家から1体の人形が発見されました。この人形は、その後の調査によって、江戸時代末期に製作された文字を書きからくり人形であることが判明しました。既に動かなくなっていました。自動で文字を書く座敷からくり人形としては日本で2例目、さらに2文字を一度に書く文字書きからくり人形としては現在のところ唯一の資料であることが判明しました。この貴重な文化財を後世に残すだけでなく、これらの成果を公開することによって、広く活用が図られるよう、報告書を刊行することといたしました。	95頁	446g	0.7cm	2500円	A4縦	
企画展「一汁三菜-江戸から昭和の食文化-」	平成30年	明治・大正・昭和にかけての収藏品資料を中心に当時安城市の人達を作り、あるいは購入した食べ物や食事、人の集まる時に食べたごちそうなど紹介していきます。	8頁	27g	0.1cm	無料	A4縦	完売
企画展「安城の文化財-モノ語り名品展Ⅴ-」	平成30年	安城市には、安城の歴史上・学術上・芸術上において高い価値を有する資料があり、国や県、市がそれぞれ指定した文化財があわせて227件あります(平成30年2月末現在)。安城市内の指定文化財を紹介する「安城の文化財展」も、平成25年度から始まり今回で最終回となります。	8頁	27g	0.1cm	無料	A4縦	完売
特別展「安城ゆかりの大名 家康を支えた三河石川一族」	平成30年	戦国期、石川一族は真宗門徒の多い西三河の各地に一族を輩出しました。一族の惣領家は、小川(市内小川町)に居た石川家でした。石川一族の中で特に活躍したのは、家康に仕えた石川数正と石川家成です。数正は忠成の孫にあたり家成は忠成の子で、数正の叔父にあたります。本書では三河一向一揆や数正、家成周辺の史料を中心に、三河石川一族に関連する史料などを広く紹介します。	88頁	413g	0.6cm	1400円	A4縦	完売

図録

書名	年度	内容	頁数	重量	厚み	定価	版形	備考
特別展 「幕府崩壊 - 幕末維新を生きた地方の証言者たち -」	平成30年	安城市域には二人の人物の記録が伝わっています。一人は幕府歩兵隊として水戸天狗党の乱追討、第二次長州征伐に従軍した安城村の農民柳助。もう一人は天狗党の乱をきっかけに水戸を追われた後、福島藩に登用され、維新後藩の転封とともに三河に移り住み、里村(市内里町)で私塾を開いた水戸出身の漢学者石川部平です。本書では幕末維新の激動の時代に生きた二人の記録を中心に、幕末維新の世相や地域の混乱、幕府歩兵隊の動向などについて紹介します。	87頁	409 g	0.6 cm	1400円	A4縦	完売
企画展 「江戸の愉しみ -安城の相撲・芝居-」	平成31年	江戸時代、相撲と芝居は人々にとって、大きな娯楽でした。本書では、江戸時代から明治期にかけて、安城市域の村々で行われた相撲・芝居に関する資料を紹介します。	8頁	27 g	0.1 cm	無料	A4縦	完売
企画展 「安城の今昔1 火消しまいる-消防の歴史と道具-」	平成31年	「安城の今昔」と題し、数回に分けて民具展示の企画展を開催することとなりました。今回の企画展はその第一回目として、「消防」に関わる展示をします。本書では、消防道具や歴史資料を通して地域の消防団が住民の生命と財産を守るために奮闘した様子を紹介しています。	8頁	27 g	0.1 cm	無料	A4縦	完売
特別展 「1964-東京五輪がもたらしたもの-」	令和元年	敗戦を契機に復興を遂げた日本は、その後立て続けに起こった神武景気や岩戸景気といった好景気により高度経済成長期に入りました。そのような中で念願の東京オリンピック招致が決まると、昭和39年(1964)の開催に向け、東海道新幹線や高速道路網などの交通インフラ整備も急ピッチで進みました。本書では東京オリンピック開催の「1964年」の一端にかかわる資料を紹介しています。	66頁	330 g	0.5 cm	1400円	A4縦	
企画展 「安城の今昔2 こよみとくらし-冬暖夏涼・季節道具-」	令和2年	「安城の今昔」と題した企画展第2回目として、昭和30年頃までの生活を再現し、季節に合わせた様々な生活道具を中心に本書では紹介します。	8頁	27 g	0.1 cm	無料	A4縦	完売
終戦75周年記念特別展 「戦争に行くということ」	令和2年	初めての対外戦争である日清戦争からは今年125年、昭和20年の第二次世界大戦終戦からは75年が過ぎ、兵士として戦争を経験した人々の多くが亡くなっています。本書では、寄贈された数多くの遺品、資料を通して、兵士たちが経験した「戦争に行く」とはどういうものだったのか、彼らが過ごした「戦場」とはどのようなものだったのかを紹介します。	81頁	387 g	0.5 cm	1400円	A4縦	

図録

書名	年度	内容	頁数	重量	厚み	定価	版形	備考
終戦75周年記念企画展 「描かれた戦争-警察官 が見た戦中戦後の愛知-」	令和2年	夏の終戦75周年記念特別展に引き続いて、12月から翌年の1月にかけて、内地の戦争の惨状などを描いた回想画を展示します。作者は桜井純氏。戦後直後の混乱した様子や、戦前の暮らしぶりなど思い出して幾つも書き留めています。本書では桜井氏の描いた絵の中から厳選して紹介します。	8頁	27g	0.1cm	無料	A4縦	完売
開館30周年記念特別展 「家康と松平一族」	令和3年	松平一族の成立から諸家の分立、一族の発展、家康とともに数多くの合戦で戦功をあげ、近世以降の譜代大名として幕藩体制を支える諸家の動向などを全国規模で本書では紹介します。	157頁	703g	1cm	1600円	A4縦	
企画展「安城の今昔3 お米のモノがたり-知恵 と工夫のわかしの道具-」	令和3年	「安城の今昔」と題した企画展第3回目として、本館に寄贈された農具のうち、近代のものから機械化されるまでの農具を紹介します。また、品種改良や藁文化を支えた道具など、米にまつわる様々な「こと」「もの」も紹介します。	8頁	27g	0.1cm	無料	A4縦	完売
特別展「美vid Ukiyo-e! 美人画浮世絵展」	令和3年	社会的な制約が多かった江戸時代の中で、女性たちは化粧や着物の着こなし、ヘアスタイルなどに工夫をこらし、楽しみながら美を追求していました。本書では、今も変わらないあくなき美への探求心を、江戸の女性たちがお手本にしながら楽しんだ「美人画浮世絵」を通して紹介します。	81頁	394g	0.6cm	1400円	A4縦	
特別展「加賀本多家-そ の歴史と至宝-」	令和3年	加賀本多家は安城市にゆかりのある本多正信の子政重を初代とする家で、政重は豊臣大名の福島正則や加賀の前田利長、上杉景勝などに仕え、「愛」の字の前立で有名な直江兼統の養子にもなり、最終的には加賀前田家に中級大名クラスの5万石の俸禄で仕えました。2代政長以降も藩で重職に就きました。本書では、政重所用の品や、政重に仕えた大名との関係がわかる文書類、政長の文化に関わる資料のほか、馬具・矢の根・刀剣付属品などの武具類、調度品を紹介します。	78頁	386g	0.6cm	1400円	A4縦	
企画展「THE 三河 MANZAI」	令和3年	三河万歳は、安城の別所村などに住む人々に伝えられた新春の祝福芸です。今日まで守り伝えられ、平成7年には西尾・幸田とともに国の重要無形民俗文化財に指定されました。これまで収集・保存してきた三河万歳に関わる資料を余すことなく紹介し、三河万歳の歴史の一端に触れていただきます。	8頁	27g	0.1cm	無料	A4縦	完売
特別展「女子のたしな み」	令和3年	「たしなみ」とは趣味・芸事の心得のみならず日々のこころがけも含まれ、家庭や教育を通して伝達されてきました。江戸から明治に時代が移ると、髪型や化粧法など身だしなみの変化だけでなく、女性は国の求めに応じて良妻賢母となることを求められました。本書では、近世から近代にかけて目まぐるしく移り変わる時代の中での女性の「たしなみ」や生活の変化について文書類や生活道具から紹介します。	88頁	411g	0.6cm	1400円	A4縦	

図録

書名	年度	内容	頁数	重量	厚み	定価	版形	備考
安城市制施行70周年記念企画展「安城太郎 満70歳 -安城市のあゆみ-」	令和4年	安城市は令和4年で70周年を迎えます。昭和27年(1952)当時の市の人口は3万7000人程で、市の面積は39.95km ² でした。現在では人口が18万人を超え、面積が85.67km ² になりました。本書では70年間の市域の様々な出来事を擬人化した「安城太郎」を通して市民生活の過去から現在の変遷、大きく変化した環境や景観などを紹介します。	8頁	27g	0.1cm	無料	A4縦	完売
安城市制施行70周年記念特別展「養生から健康へ」	令和4年	令和4年に市制施行70周年を迎えた安城市では、「市民一人ひとりが生活の豊かさとともに幸せを実感できるまち」を基本理念とし、豊かさや幸せを実感できる五つの要素のうち特に健康を軸に据えた「幸せつながる健康都市安城」の実現を目指しています。本書では、古代から近代以降までの日本人の健康観の変遷を、文書や浮世絵に加え、徳川家康など著名人の健康にまつわるエピソードを交えて紹介します。	88頁	409g	0.6cm	1400円	A4縦	
企画展「勉強っておもしろい?」	令和4年	明治5年(1872)に学制が発布され、令和4年は近代教育制度が確立されてから150年の記念の年です。本書では、市域に残された資料等を、近世後期から現代にかけての教育に焦点を当てて紹介します。この機会に「勉強の面白さ」を問い直してみましよう。	8頁	27g	0.1cm	無料	A4縦	完売
特別展「家康と一向一揆」	令和4年	永禄6年(1563)に起こった三河一向一揆は、家康の三大危機の一つといわれています。当時の浄土真宗本願寺派の上宮寺(岡崎市)などで、家康の家臣が強引に兵糧米を集めたことが原因とされています。同じ頃、配下の家臣や近隣の領主が反逆します。家臣の中には一向方に与した者もいました。半年の戦いの後、家康は勝利し、坊主衆は家康領国外に退去させられました。本書では、三河一向一揆やその坊主衆・一向方の家臣の動向、本願寺との関係について家康の視点から紹介します。	88頁	411g	0.6cm	1400円	A4縦	
企画展「安城の今昔4はかり箱-暮らしのなかのはかる道具-」	令和5年	私たちの日常は「はかる」道具であふれています。何も「はかる」ことなく1日を過ごすことは難しいのではないのでしょうか。本書では、ものさし、枴や秤に加えて、時計や温度計などのいろいろなはかる道具について暮らしに照らして紹介します。	8頁	27g	0.1cm	無料	A4縦	完売
特別展「安城譜代」徳川の支柱 酒井氏 -左衛門尉家と雅楽頭家-	令和5年	左衛門尉家は三河統一後に東三河を任された忠次の系統で、雅楽頭家は家康が西三河幡豆郡の吉良を押さえた後に西尾城を任された正親の系統です。雅楽頭家は江戸幕府を創設した後も酒井重忠や忠勝・忠世など大老となる人物を輩出し、江戸時代を通して名家として認められていました。本書では、戦国期から江戸時代初期の酒井氏に関わる資料を展示し、酒井氏の出自や松平氏との関係、徳川家康のもとでの活躍を紹介します。	80頁	386g	0.6cm	1400円	A4縦	完売

図録

書名	年度	内容	頁数	重量	厚み	定価	版形	備考
特別展「安城譜代2 三河本多一族」	令和5年	本多氏は安城譜代として、代々安城松平家に仕え、一族から多くの譜代大名や旗本家を出しました。本多氏はさまざまな系統に分かれています。本書ではそのうち五家を取り上げます。徳川四天王の一人である本多忠勝の一族(中務大輔家)、小川(安城市小川町)で出生したとも伝えられる本多正信の一族はもとより、特に本書では鬼作左と称された本多重次の作左衛門家、家康から田原城を与えられた豊後守家、さらに三河国伊奈を本拠地とした伊奈本多家について焦点を当てて紹介します。	76頁	365g	0.5cm	1400円	A4縦	完売
企画展「家康と三河の城」	令和5年	愛知県には1300件を超える城が知られています。城というと天守のある名古屋城や岡崎城などをイメージすることが多いかもしれませんが、それら城郭は江戸時代にも存続したわずかな事例です。ほとんどの城は中世に役割を終えたもので、堀や土塁で構成される「土づくりの城」でした。本書では中世城館に徳川家康をキーワードに加えて紹介します。	8頁	27g	0.1cm	無料	A4縦	完売
企画展「はたらく道具たち-職人の仕事道具」	令和6年	大工や鍛冶屋、桶屋など人々の暮らしの身近にいた職人から、安城にゆかりの深い素麺や煙火の職人まで、さまざまな職人の仕事と道具を紹介します。	8頁	27g	0.1cm	無料	A4縦	完売
特別展「国絵図の世界 - 描かれた江戸時代の三河 -」	令和6年	徳川家康は、江戸幕府を開いた翌年の慶長9年(1604)、諸大名に「国絵図」と「郷帳」の提出を命じました。国内統治の基本である国土の把握としての国絵図作成事業は、これ以後、正保期、元禄期、天保期の4回に及びました。民間では、江戸中期以降、木版刷りの国絵図が刊行されるようになり、多くの人々の知的好奇心を満たしてきました。本書では三河国絵図を中心に、多彩な絵図を読み解き、その魅力に迫っていきます。	88頁	416g	0.7cm	1300円	A4縦	
特別展「地震と災難 - 宝永地震から三河地震まで -」	令和6年	三河地震が発生してから2025年1月で80年になります。現在も地震は日本各地で頻発しており、時代を問わず人々は地震によって被害を受けてきました。特に近世以降は、残された史料により地震発生からその後の対応を断片的に知ることができます。本書では、近世から近代にかけての地震の発生を中心に、人々がその災難を克服していく様子を紹介します。	88頁	420g	0.7cm	1300円	A4縦	完売
企画展「季節を祝う」	令和6年	雛人形や五月飾り、「年中行事絵巻」等当館の収蔵品を中心に、季節を祝う行事が現代に至るまでどのように受け入れられ、受け継がれてきたのかを紹介します。	8頁	27g	0.1cm	無料	A4縦	
企画展「日本デンマークと呼ばれた時代-100年前の碧海地域と農業-」	令和7年	当館収蔵品を中心に、碧海郡が「日本デンマーク」と呼ばれた大正から昭和初期の時代の、農業やくらしについて紹介します。	8頁	27g	0.1cm	無料	A4縦	完売

図録

書名	年度	内容	頁数	重量	厚み	定価	版形	備考
特別展「空襲に備えよ-総力戦下の家庭防空-」	令和7年	日本は昭和17年(1942)4月18日に初めて戦略的な本土空襲を受け、日本が降伏するまで空襲は断続的に続きました。市域は大規模な空襲を受けることはありませんでしたが、岡崎空襲の際に上条町や安城町、小川町には焼夷弾が投下され、明治航空基地の周囲では度々空襲や機銃掃射を受けました。本書では、銃後の防空活動に焦点を当て戦争が身近に迫る様子を紹介します。	72頁	353 g	0.6 cm	1200円	A4縦	
特別展「白山信仰と三河三白山」	令和7年	安城市内に所在する大岡白山神社(大岡町)・白山媛神社(上条町)・桜井神社(桜井町)の三社は、江戸時代には総称して「三河三白山」と呼ばれました。三社には徳川家康や幕府より朱印地が与えられたなどの由緒が伝えられています。三社に共通する白山信仰は石川県・福井県・岐阜県にまたがる白山を神体としたものです。本書では各地に残る白山信仰の関連史料をもとに、白山信仰と三河三白山の由緒について紹介します。	80頁	384 g	0.6 cm	1200円	A4縦	
企画展「村中安全-江戸時代の村と人々の営み-」	令和7年	村人たちはいかにして生きぬいてきたのか。本書ではこれまであまり注目されなかった江戸時代の村や、村人の暮らしぶりを古文書や絵図、民具を通して紹介していきます。	8頁	27 g	0.1 cm	無料	A4縦	